

令和6年度 富岡市立西中学校 教育構想図

- 日本国憲法 ○教育基本法
- 学校教育法 ○学習指導要領
- 群馬県学校教育の指針
- 富岡市教育行政方針

【学校教育目標】

自ら学び、他者と共生・協働し
粘り強く課題解決を図る生徒の育成

- 地域や家庭、生徒の実態
- 保護者や家庭、地域の願い
- 教職員の願い
- 子供達に対する社会の願い

【具体目標】

知: 主体的・対話的で深い学びができる生徒
体: しなやかでたくましい心と体をもつ生徒

徳: 互いに認め合い共生し、協働して課題解決する生徒
夢: 主体的に可能性を発見し、自分らしい生き方を築く生徒

西中ブランド(礼儀・時間・身だしなみ)の凡事徹底 ~当たり前のことを当たり前~

- 【礼儀】 ○ 誰にでも爽やかな挨拶と返事 【時間】 ○ 5分前行動 【身だしなみ】 ○ 清潔感のある服装
○ 感謝の気持ちを言葉で表現 ○ 約束を守る ○ 時と場所に合った言動

【経営方針】

《経営理念》

※一期一会(出会いを大切に)
主役は生徒。教師は、生徒自身が気付かない潜在能力を発掘したり、芽吹いたばかりの能力を大きな力に引き上げたり主役を引き立てるサポーターとなる。

- (1) 職員一人一人が持つ特技や能力、専門性を融合させて「チーム西中」として、全職員経営参画による組織的で活力ある学校づくりを推進する。
- (2) 学年・学級経営を充実させるために、学年主任を中心に職員間の縦(学年間)と横(学級間)の連携・協力を図り、適切にかつ愛情を持った指導・支援にあたる。
- (3) 生徒の成長を保護者や地域も実感できる学校を目指し、全職員による共通理解と一貫した指導による生徒主体の教育活動の推進を図る。

《基本理念》

- 1 組織的な学校運営
- 2 生徒・保護者・地域との信頼を基盤とした教育活動
- 3 生徒・職員の健やかな心と体の育成
- 4 学力向上と生徒指導の螺旋構造

- (4) 保護者、地域、関係諸機関との連携を密にとり、地域に根ざした信頼される学校づくりを推進する。
- (5) 心と体の健康とメンタル・体力の向上に努め、将来自立し逞しく生き抜いていく基礎を培う。
- (6) 多様性を理解し認め合い、自己と異質な他者とを繋ぐ力と共生・共助の視点を培う。
- (7) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、ICTを活用した学びを推進するための授業改善を図る。

【努力点】

1 しなやかでたくましい心と体をもつ生徒

- ①粘り強く取り組み、困難に負けない心を育成するための授業・学校行事等の推進。(自己選択・決定させる場面の工夫、チャレンジ精神と取組過程の重視と見守り)
- ②体力向上とスポーツに親しむ態度を育成するための体育的諸活動の充実。
- ③生命尊重を基盤とした危険予測・回避能力を育成するための安全教育やSO S出し方教育の充実。
- ④基本的な生活習慣と望ましい食習慣の定着を図り、主体的に判断し、よりよい対応ができるための健康・保健教育や食育の推進。

2 互いに認め合い共生し、協働して課題解決する生徒

- ①特別の教科・道徳を核とした、やさしさを備えた豊かな情操を養う道徳教育の充実。
- ②自己と異質な他者とを認め合い互いを繋ごうとする心を育成する共生・共助の視点を培う人権教育の推進。
- ③西中校区小中生活スタンダードを基にした、生徒指導の3機能(自己決定、自己存在感、共感的人間関係)による教育実践。
- ④教師の率先垂範により言語環境を整えとともに、よりよい人間関係を構築し互いを高め合えるような学級経営の充実。

3 主体的・対話的で深い学びができる生徒

- ①「何のために学ぶか」を実感させ、生徒が自ら調整し、粘り強く課題に取り組み主体的な学習ができるような授業実施と工夫・改善。
- ②各教科で得た「見方・考え方」を働かせながら、思考力・判断力・表現力等を伴う多面的・多角的な学びの場の設定。
- ③西中校区小中学習スタンダードを基にした学習規律の定着、成就感(分かる喜び)や達成感(できた嬉しさ)を味わえる授業実践。
- ④学習習慣や読書習慣の定着を図るため、工夫・充実と家庭との連携。

4 主体的に可能性を発見し、自分らしい生き方を築く生徒

- ①生徒主体の行事等の運営と生徒主役の学校行事。
- ②キャリアパスポート等を活用し将来の夢や志を意識し、自己肯定感を高められるキャリア教育の推進。
- ②「Fungrish」を推進し、英語教育の充実とグローバル人材を育成を図る。

5 教育相談・特別支援の充実

- ①不登校・登校渋り等への未然防止の取組と支援の充実。
- ②小さな変化を見逃さず、いじめも未然防止と早期発見・早期解決。

- ③スクールカウンセラーや心の教室相談員、教育相談センターや特別支援学校等との連携を深め、生徒や保護者が安心して相談できる教育相談の推進。
- ④特別支援教育の視点に立ち、生徒のよさを見出し、個の能力やニーズに応じた支援。

6 学校経営の充実・改善

- ①本校の課題や地域の実態に応じた、特色ある教育課程の編成・実施。
- ②目的・目標、ねらいを明確にした行事等の計画的・継続的な実践。
- ③職員一人一人が自分の役割を自覚し、「報告・連絡・相談」がある組織づくり。
- ④コミュニケーションをとり互いに高め合えるような、同僚性あふれる職員集団作り「チーム西中」

7 自己研鑽と資質・能力の向上に務める教職員

- ①服務規律を遵守し、教育公務員としての使命感と責任感をもった職務の遂行。
- ②学校職員としての専門性や人間性を高め、人権尊重の精神を基盤とした教育の推進。
- ③「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実とICT機器の活用及び指導力へ向けた校内研修の充実と組織的な授業改善。
- ④職員のワークライフバランスやメンタルヘルスを配慮した、働き方の向上。
- ⑤時間外勤務の月45時間以内を目指した、学校行事の精選や環境整備、会議・事務仕事の効率化や簡素化等による業務改善。

8 学校間及び家庭・地域との連携

- ①校区内三小学校との連携による系統性・一貫性・連続性のある生徒指導。
- ②新学習指導要領における9年間の学びを繋げるための計画作りと実践。
- ③家庭・地域へ積極的に情報発信するための、各種通信やWebページ等の活用・充実。
- ④地域の方や外部人材を積極的に活用するための、学校支援センターの充実。
- ⑤学校課題を把握し改善を図るための学校評価の充実と学校評議員制度の活用。

8 安全で安心な学校づくり

- ①学校安全管理マニュアルの共通理解による危機管理の徹底。
- ②生徒の安心・安全のため、学校施設や通学路等の徹底した点検と問題への迅速な対応。
- ③教育環境の整備・充実のため、計画的かつ適切な予算執行。

【特色ある学校づくり】

1 小中学校間連携

- 西中ブランド(礼儀・時間・身だしなみ)校区内小学校と共有。
- 西中校区内小中生活・学習スタンダードを基とする生徒指導と学習指導
- 西中校区内小中校長会議の定期的開催。

2 生徒会を中心としたJRC活動の推進

- (1) JRCの態度目標「気づき」「考え」「実行する」に基づいた生徒会活動。
- (2) SDGs西中への取組